ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

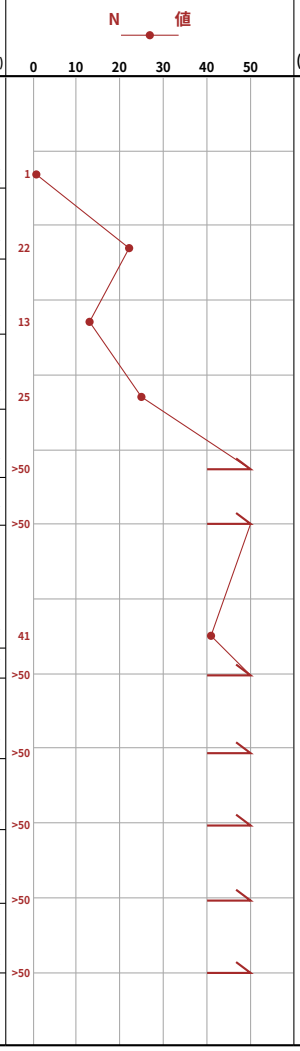
シートNO.

ボーリング名	NO.B-4	調査位置						北　緯	36 ° 51 ' 55.0000 "
発注機関	栃木県日光土木事務所　河川砂防部			調査期間	2008-10-30 ～ 2008-11-06			東　経	139 ° 23 ' 18.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	1394.77 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	270° 西 90° 東 180° 南 0° 北 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 30.00 °	使用機種	試錐機 / ハンマー落下用具
総掘進長	12.01 m								エンジン / ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	1394.22	0.55	0.55		表土 (SF)	黒褐			0.30m迄木片混入。粘着は中位。腐植質シルト主体。緩い地層。		
1	1392.67	1.55	2.10		礫混り粘土 (CH-G)	暗茶褐			粘着性は中位。礫径2から140mmの角礫混じる。コア長5cm程度の玉石点在する。含水比は下位から中位。		
2 3 4	1389.42	3.25	5.35		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐			礫径2から45mmの角礫、亜角礫主体。風化礫混じる。含水比は下位。間隙に粘土分を含む粗粒砂充填。コア長3から5cmの玉石所々混じる。土質乱れる。全体的にややルーズな状態。		
5 6	1387.57	1.85	7.20		玉石 (B)	暗褐			5.50m迄、コア長10cmの玉石と層厚5cm砂礫層。5.50から7.20m間、コア長170cmの流紋岩系の大型転石。コア質は硬い。部分的に亀裂あり。		10/31
7	1386.77	0.80	8.00		玉石混り砂礫 (GS-B)	暗灰	密な		礫径10から50mm主体。コア長15から20cm玉石。一部ルーズ、逸水。		
8 9	1384.97	1.80	9.80		風化流紋岩 (Ry)	褐灰			コア長5から10cm主体。風化変質が進み、岩片状コア主体。岩質やや脆く、ハンマーで叩くと容易に割れる。		11/04
10 11 12	1382.76	2.21	12.01		流紋岩 (Ry)	暗灰			含水比は中位から高位。コア長5から15cm。柱状コア主体。10.85mより所々乳白色となる。岩質は硬い。亀裂縦横に入る。亀裂面に沿って風化変質する。乳白色の部分は硬質となる。11.10から11.50mの間、風化し脆くなる。		11/05

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1 / 34			1 / 34	1
1.49					
2.15	11	7	4	22 / 30	22
2.45					
3.15	4	4	5	13 / 30	13
3.45					
4.15	8	10	7	25 / 30	25
4.45					
5.15	16	23	11 / 2	50 / 22	>50
5.37					
6.00	50 / 2			50 / 2	>50
6.02					
7.35	9	12	20	41 / 30	41
7.65	50 / 6			50 / 6	
8.00					>50
8.06					
9.00	35	15 / 3		50 / 13	>50
9.13					
10.00	50 / 9			50 / 9	>50
10.09					
11.00	50 / 7			50 / 7	>50
11.07					
12.00	50 / 1			50 / 1	>50
12.01					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日